

リハビリテーション

Rehabilitation

当院では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士だけでなく、医師、看護師をはじめ、院内外のあらゆる職種と協働し、患者様やご家族へ生活環境を支えるリハビリテーションサービスを提供していきます。リハビリテーションの対象患者様は、脳神経外科、整形外科、神経内科など、発症後・手術後・各種治療後の回復段階の方、多様な基礎疾患をお持ちで廃用症候群の方、自宅復帰や社会・職業復帰を目指す方、小児疾患についても専門機関と協力しながら対応していきます。以下では、この度取り入れるリハビリ機材の一部をご紹介します。

モバエルエアロモニタ

- 携帯型でありながら据置型に匹敵する精度で計測できる呼吸代謝モニタシステム。
- リハビリの負荷強度決定を行えるとともに、携帯したままやベッドサイドで代謝量を測定できるため、運動量が正確に実行されているか確認できます。



マイオモーション

- 全身にセンサーを設置し、カメラ不要の3次元動作解析が可能です。
- 歩行だけではなく、起居動作や段差など場所を選ばずに短時間で客観的な評価が行えます。
- 歩き方や補装具、車いす作成前後の体の動きを比較し、補装具等の修正が可能です。



マグプロ

- 頭部に磁気刺激を与えることで麻痺側の改善や慢性疼痛に有効です。
- 受傷していない大脳半球に低頻度の磁気刺激を行うと過度な半球間抑制が抑えられて、損傷した脳が働きやすくなり、手足が動きやすくなります。



ジータス

- 麻痺や寝たきりで既に筋力や随意性が低下した場合や整形術後免荷を伴う場合など、有酸素運動から筋トレの高い運動負荷まで、症例に合わせた運動をベッド上で安全に実施することができます。
- 脳血管疾患や整形外科疾患の上肢、下肢の随意性を高める為に、電気刺激による筋収縮と自動運動を同期させることで神経筋促進効果が得られます。



アイビス

- 脳卒中などの脳血管疾患患者および運動器疾患患者のリハビリの可能性を広げる 随意運動助型電気刺激装置です。
- 脳卒中や脊髄損傷などで生じる麻痺部位では、脳からの運動指令が弱くなっています。アイビスを使用することで、脳からの運動指令により生じる筋肉の活動を電気信号として読み取り、弱くなった運動指令を補うように麻痺のある筋肉に電気刺激を与えます。



ウォークエイド

- ウォークエイドは、歩行に合わせて腓骨神経を電気刺激することで中枢神経障害による尖足患者さんの歩行を改善します。
- 歩行アシストと同時に使用することもあります。



歩行アシスト

- Honda歩行アシストは、歩行時の股関節の動きを左右に内蔵されたセンサーで検知し、モーターを駆動します。
- 股関節の屈曲による下肢の振り出しの誘導と伸展による下肢の蹴り出しの誘導を行います。



バイオニックレッグ

- リハビリ患者のわずかな動きを検知し、サポートする最先端のリハビリテーションロボットです。
- 脳卒中、外傷性脳損傷、脊髄損傷の早期より適応可能です。
- 動かそうとする意思をフットセンサーで読み取り、患側の下肢の動かし方を再学習できます。



ニューアシスト免荷装置

- 使用者の体重をバランスよく支え、100cmもの免荷ストロークがありますので、立ち上がり運動など大きな運動も適応ができます。
- 2階リハビリ室では、天井フレームの長さを12mで設計しており、長距離歩行にも対応できます。



マルチパラレルバー

- 体型や歩行レベルに合わせて様々な用途が簡単に調整可能です。ハンドレールの幅や高さ調整、歩行プラットフォームのスロープの高さを無段階で調整が可能で、レベルに合わせて歩行プラットフォームに様々な障害物を設置する事もでき、効果の高いリハビリテーションを提供できます。



HUR(フー)シリーズ

- リハビリテーション中の患者さんでも十分対応できるフィットネスマシンとなっており、機器の中には車椅子使用者のために設計されたマシンもあります。
- これらの機器のシートは取り外しが可能で、車椅子に座ったままでもご利用いただけます。



レッドコード

- 運動器系疾患(腰痛、頸部痛、骨折後のリハビリ治療等)、中枢系疾患(片麻痺等)に対する治療エクササイズだけでなく、スポーツ領域においてのファンクショナルトレーニングに幅広く利用されています。
- 個別の治療、運動療法を実施する際、多様なポジションに応じて簡単に上下肢、頭部、体幹等を懸垂できるため、関節可動域、筋力増強、スタビリティトレーニング、各徒手療法等が安全かつ効果的に実施できます。



コグニバイク

- ペダルをこいで回転させることで身体を使い、記憶・計算などの課題をこなすことで頭も同時に使うという、デュアルタスク方式のエルゴメーター。
- 運動と認知課題を同時にこなすコグニバイクは身体を動かすことと計算やしりとりなどの認知課題を組み合わせた運動です。



ドライブシュミレーター

- 認知、判断、運転操作の複合的動作を楽しみながら活用でき、リハビリに対する意欲向上が図られます。
- 走行時間は3～20分のコースを用意、難易度別コース、危険シーン構成も可能です。



能動型自動間欠牽引装置

- 椅子に座った姿勢のままで、理想的な牽引治療の姿勢を自動的にセットし、効率的な治療を実現します。
- 牽引部位の筋スパズムの改善や間欠牽引によるマッサージ効果、椎間開大の手助けをして圧迫神経への影響をやわらげる効果が期待できます。



超音波治療器

- 超音波による加温、マイクロマッサージ効果で疼痛の緩解、筋肉痛、関節痛の軽減効果があります。
- 低出力パルス超音波では浅部から深部まで対応でき、筋、腱、靱帯など損傷を受けた軟部組織を効果的に治療します。」

